

文部科学省「履修証明プログラム」
文部科学省「職業実践力育成プログラム(BP)」認定講座
厚生労働省「専門実践教育訓練給付金制度」指定講座



上智大学
SOPHIA UNIVERSITY

上智大学グリーンケア研究所

2023年度
グリーンケア人材養成講座
グリーンケア人材養成課程
【東京・大阪】／2年制

出願要項

2023年度 グリーフケア人材養成課程出願について

1. 概要

	東 京	大 阪
募集定員	48名	36名
開講場所	上智大学四谷キャンパス	上智大学大阪サテライトキャンパス
開講期間	2023年4月～2025年3月(2年間) 春学期(4月～7月) 秋学期(9月下旬～1月)	
開講曜日	水曜日(15週)と土曜日(8週)	
開講形態	水曜日はオンライン授業(Zoom)、土曜日は対面授業	
開講時間帯	水曜日 18:30～20:00 (90分×1コマ) 土曜日 ① 9:30～11:00、②11:10～12:40 ③13:30～15:00、④15:10～16:40 (90分×4コマ)	

※土曜日は隔週開講で、原則として、東京は第1・第3土曜日、大阪は第2・第4土曜日に開講します。

※上記の曜日以外に、1年間に数回、1日間の現場実習を行います。

※土曜日に個別指導を受講する場合は、16:50～18:20までの間に、一人30分程度で行います。

2. 出願資格

次の(1)および(2)のすべての条件を満たす方。

(1) 専門的な知識・援助技術をもって、グリーフケアの実践に携わることを目的とし、次のすべてに該当する方

- ① 心身ともに健康である方
- ② 多様な思想・宗教・伝統・文化・価値観があることを謙虚に受け入れて、自己の成長を目指している方
- ③ 教員や他の受講生とのコミュニケーションを通して、相互研鑽を図ることができる方
- ④ 学習に支障をきたすような自分自身の強いケアニーズを抱えていない方

(2) 次の①または②のいずれかに該当する方

- ① 大学(短期大学を含む)を卒業、または卒業見込みの方
- ② 国内外において学校教育における12年の課程を修了し、さらに専門課程を置く専修学校において2年以上の課程を修了、または修了見込みの方

※ 上記(2)の①、②いずれにも該当しない場合は、事前に出願資格審査を受けていただきます。

出願資格審査を申請できる方は、「**学歴が高卒までの方で、卒業後、医療・介護・福祉等の現場で、グリーフケアに関する実務経験が5年以上ある方**」です。

上記に該当する方は、2022年11月10日(木)までに、「2023年度出願資格審査について」というタイトルで、(1)住所、(2)氏名を記載した内容のメールをグリーフケア研究所(griefcare@sophia.ac.jp)宛に送付してください。その後、所定用紙(出願資格審査申請書・志望理由書)を送付しますので、必要事項を記入の上、2022年11月17日(木)までに申請書をグリーフケア研究所宛に郵送してください。申請書を受理した後、審査結果は2022年11月30日(水)までに通知します。

【その他】

- ① 3年以内(2020年4月以降)に以下の(1)から(4)のいずれかに該当する方は、出願できません。
 - (1) 両親(実父、実母)と死別した方
 - (2) 配偶者と死別した方
 - (3) 子と死別した方
 - (4) 出願者と世帯を一にする兄弟姉妹と死別した方
- ② 出願時において、精神科または心療内科を受療中の方は、講座を受講するにあたり問題がないか、主治医に相談の上、他の出願書類とともに、診断書を提出してください。

3. 出願期間・方法

出願期間：**2022年12月1日(木)～2023年1月13日(金)【当日消印有効】**

- ① 出願は、出願期間内に受験料を銀行振込し、出願書類を郵送することにより完了します。
- ② 定型外の封筒(A4サイズが入る角2封筒)をご用意いただき、表面に所定の「上智大学グリーフケア研究所」宛の送付状を貼り、**必ず簡易書留にて郵送してください。**
- ③ 出願を受け付けましたら、2023年2月6日(月)付けて、願書に記載の住所宛に、試験実施についての通知文書(兼受験票)を郵送します。

4. 受験料

受験料：30,000円

- ① 別紙「受験料納入のご案内」に記載の口座に銀行振込のうえ、振込金受領書の写しを受験料振込金受領書等写台帳の所定の場所に貼付のうえ、出願書類と一緒に送付してください。
- ② 振込手数料は自己負担になります。
- ③ 納入済みの受験料は、如何なる理由であっても返還できません。
- ④ 取扱銀行・金融機関で発行する振込金受領書は、本学の領収書に代わるものですので、大切に保管してください。

5. 出願書類

- ① 2023年度上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成課程願書 [本学所定用紙]
 - ② 自己紹介文
A4 縦判 (1 枚) に横書きで、自分の特徴や性格を、具体例をもって 400 字以内で書いてください。
ワープロ、手書き、どちらでも可。
 - ③ 志望理由書
A4 縦判 (1 枚) に横書きで、志望する理由、学びたいこと、活動したいこと、将来の希望や夢を 800 字以内で書いてください。ワープロ、手書き、どちらでも可。
 - ④ 小論文
A4 縦判 (1 枚) に横書き、ワープロ、手書き、どちらでも可。
【小論文 課題】
「あなた自身や身近な人の喪失や悲嘆の経験にあなたはどのように向き合ってきたか、それがあなたの生き方にどのような変化をもたらしたかについて、1000 字から 1600 字で書いてください。」
- ※ 上記②、③、④の様式について
1 行目の左端にタイトル (自己紹介文、志望理由書、小論文のいずれか) と 2 行目の右端に氏名を記入してください。記入のないものは書類不備として受理しません。なお、ホチキス止めはしないでください。
- ⑤ 受験料振込金受領書等写台帳 [本学所定用紙]
- ※ 出願書類に記載する氏名および生年月日は、戸籍簿 (外国人は住民票) と一致しているか、ご確認ください。
※ 出願書類の記載事項に虚偽があることが判明した場合は、合格あるいは入学を取り消すことがあります。
※ 事前に出願資格審査を受け、出願を認められた方は、出願資格審査結果の通知文書 (写し) を同封してください。

6. 選考日程

	東京	大阪
出願期間	2022年12月1日(木)～2023年1月13日(金)	
試験通知(受験票)発送	2023年2月6日(月)	
面接試験	2023年2月18日(土)	2023年2月12日(日)
試験会場	上智大学四谷キャンパス	上智大学大阪サテライトキャンパス
合格発表	2023年2月20日(月)	2023年2月15日(水)
合格者手続期間	合格発表日～2023年3月3日(金)	

7. 選考方法および合格発表

- ① 選考は、書類審査および面接試験によって総合的に判断し、可否を判定します。
- ② 出願者には、必ず面接試験を受けていただきます。
当日の集合時間は、試験通知 (受験票) でお知らせします。
※ 仕事上の都合や遠方から受験する等のやむを得ない理由により、面接時間の配慮を求める場合は、以下の要領で願い書を作成し、出願書類に同封してください。
【面接時間の配慮を求める願い書の作成要領】
 1. 書式自由 (A4 縦判横書き)
 2. 氏名、配慮を求める理由、希望する時間帯 (午前または午後など) を記入する。
 3. 時間の指定はできません。
 4. 調整の結果、希望どおりの時間帯に設定できない場合があります。
- ③ 可否結果は郵送にて通知します。合格発表日に発送しますので、1 週間経っても、通知が届かない場合は、お問い合わせください。合格者には手続書類を同封します。

8. 入学料・受講料

入学料：20,000円（入学時のみ）

受講料：1年目 276,000円（春学期に138,000円、秋学期に138,000円を納入）

2年目 276,000円（春学期に138,000円、秋学期に138,000円を納入）

※別途、実習費（10,000円 ※入学時のみ）と責任賠償保険加入料（150円 ※毎年）を納入いただきます。

※詳細は、合格通知に同封する受講手続要項でお知らせします。

※入学後に、厚生労働省「専門実践教育訓練給付金制度」の適用を受けた方は、入学料および受講料の一部が給付金として支給されます。

9. 受講手続

合格者手続期間に、入学料、受講料などの手続金を納入するとともに、手続書類等を郵送してください。

なお、受講手続を完了した方が、やむを得ない事情により受講を辞退する場合は、2023年3月31日（金）までに、書面（所定用紙）にて申し出てください。入学料を除いた受講料等を返還します。

【参考】2022年度選考結果

	募集定員	志願者数	合格者数
東京	48名	124名	48名
大阪	36名	44名	34名

文部科学省「履修証明プログラム」

グリーンケア人材養成講座は、2017年度より学校教育法その他関連法規に基づく「履修証明プログラム」です。「履修証明プログラム」とは、大学等における社会人等に対する多様なニーズに応じた体系的な教育、学習機会の提供を促進することを目的とするものです。

グリーンケア人材養成講座に入学した受講生が、所定の単位を修得して修了する際、学校教育法の規定に基づくプログラムであること及びその名称等を示した「履修証明書」を交付します。

文部科学省「職業実践力育成プログラム（BP）」

グリーンケア人材養成講座は、2017年度より学校教育法その他関連法規に基づく「職業実践力育成プログラム（BP）」として認定されました。「職業実践力育成プログラム（BP）」とは、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた、主に社会人を対象とした実践的・専門的なプログラムで、社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的としています。

厚生労働省「専門実践教育訓練給付金制度」

グリーンケア人材養成講座は、2017年度より厚生労働省が認定する「専門実践教育訓練給付金制度」の指定講座となりました。

専門実践教育訓練給付金制度とは、働く方の主体的な能力開発の取組み又は中長期的なキャリア形成を支援するため、教育訓練受講に支払った費用の一部を支給する制度です。

本給付金制度の申請は、入学前の事前手続が必要ですので、希望される方は、早めの準備をお願いします。支給対象者、支給額及び申請手続等、詳細については、居住地のハローワークにお問い合わせいただくか、ハローワークインターネットサービスをご覧ください。

URL：https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html

グリーフケア人材養成講座が目指すもの

【養成する人材像】

上智大学の教育精神、“For Others, With Others - 他者のために、他者とともに生きる者”に基づき、死生学を基盤とし、さまざまな喪失によるグリーフ（悲嘆）を抱える個人や共同体に対して、スピリチュアルケアを提供できる人材の養成を目指します。

グリーフを抱える個人や共同体が持っている死生観やスピリチュアリティの多様性を前提として、スピリチュアルな課題（スピリチュアルペイン）に直面している悲嘆者に対し、ケア対象者・ケア提供者が共に各自の死生観・スピリチュアリティを十全に生き共存できるケア関係の構築を目指し、深い臨床理解とダイナミックなケア実践ができる人材を養成します。

具体的には、医療、保健、社会福祉、介護、教育、宗教活動、その他、臨床の現場での対人援助の専門職としての活動において、グリーフケア、スピリチュアルケアを提供できる人材、あるいは、遺族会・患者会等のサポートグループのファシリテーション、ケア提供者のピアケアのリーダーシップを取れる人材を養成します。また、ボランティアとして、医療・福祉等の現場、事件・事故あるいは災害等の現場、その他さまざまな現場において、グリーフ（悲嘆）を抱えた方々に寄り添い、耳を傾けることで、ケアを行うことができる人材を養成します。

【グリーフケア人材養成課程の3つのポリシー】

「臨床傾聴士」の資格認定に求められる基準（ディプロマ・ポリシー）

- ① 課程修了に必要な単位を取得していること。
- ② 身体的・社会的・心理精神的な健康と有機的関連を持つスピリチュアルな健康について、知的・情緒的・実践的に理解していること。
- ③ 自身の中で働き、また将来を導くスピリチュアリティの力動とその背景を、自分自身の課題として理解し、それに継続して取り組む準備ができていること。
- ④ 宗教並びにスピリチュアリティの公共的役割について理解していること。
- ⑤ 現代社会のさまざまな宗教・思想・伝統について共感的かつ批判的に理解していること。
- ⑥ 自らのスピリチュアリティをケアの素材として提供しつつ、ケア対象者のスピリチュアリティの涵養を目指す基本的な活動をすることができること。
- ⑦ 上記①から⑥までの基準を満たしているかどうかを判定する総合審査に合格すること。

グリーフケア人材養成課程の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

- ① 講義において、グリーフケア、スピリチュアルケアに関する本質的な理解を得るとともに、演習・グループワークを通して実践的に学ぶ。
- ② グリーフケア、スピリチュアルケアに関する知識・技能を修得するとともに、ケア者に必要とされる意識態度、またグリーフケア、スピリチュアルケアにとって重要となる多様な価値観、宗教観・死生観を学ぶ。
- ③ スピリチュアルケア提供者を目指す受講者自身が、教育的に構成された場で互いにスピリチュアルケアを受けることを通して、ケアを総合的・実践的に学ぶ。
- ④ 常に、受講者・指導者・研究所職員また援助対象者を含むすべての関係者が互いに尊厳を尊重し、各自のスピリチュアリティの涵養を目指す。

グリーフケア人材養成課程の受講生の受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- ① 宗教者・対人援助職従事者もしくはそれらに準ずる立場に必要とされる、基本的なケア実践力またはその資質を持っていること。
- ② スピリチュアルケアに固有な人間観とそれに基づくケア実践力を身につけることを目指していること。
- ③ 講義および演習またグループワークを含む授業形態での学習において受講生相互の成長を目指す意志があること。
- ④ 学習に支障をきたすような強いケアニーズを抱えていないこと。

グリーフケア人材養成講座の課程

グリーフケア人材養成課程（2年制）（本出願要項の課程）

グリーフケア人材養成課程（2年制）は、次のような人材の養成を行う課程です。

- ① 医療、保健、社会福祉、介護、教育、宗教活動、その他、臨床の現場で対人援助の専門職としての活動において、グリーフケア、スピリチュアルケアを提供できる人材を養成します。
- ② 遺族会・患者会等のサポートグループのファシリテーション、またケア提供者のピアケアのリーダーシップを取れる人材を養成します。
- ③ ボランティアとして、医療・福祉等の現場、事件・事故あるいは災害等の現場、その他さまざまな現場において、グリーフ（悲嘆）を抱えた方々に寄り添い、耳を傾けることで、ケアを行うことができる人材を養成します。

【2023年度授業日程】（予定）

【東京】開講式 4月2日（日）

【春学期】4月2日（日）～7月19日（水）

	水曜開講日	土曜開講日
1	4月5日	4月2日※
2	4月12日	4月15日
3	4月19日	4月29日※
4	4月26日	5月20日
5	5月10日	6月3日
6	5月17日	6月17日
7	5月24日	7月1日
8	5月31日	7月15日
9	6月7日	
10	6月14日	
11	6月21日	
12	6月28日	
13	7月5日	
14	7月12日	
15	7月19日	

【秋学期】9月27日（水）～1月24日（水）

	水曜開講日	土曜開講日
1	9月27日	10月7日
2	10月4日	10月21日
3	10月11日	11月5日※
4	10月18日	11月18日
5	10月25日	12月2日
6	11月8日	12月16日
7	11月15日	1月6日
8	11月22日	1月20日
9	11月29日	
10	12月6日	
11	12月13日	
12	12月20日	
13	1月10日	
14	1月17日	
15	1月24日	

※春学期の初回の授業は、4月2日（日）の開講式の後に行います。

※通常、土曜日の授業は第1・第3土曜日ですが、4月は第5週目の4/29〔昭和の日〕に第3回目の授業を行います。

※秋学期3回目の土曜日（11/4）は、学園祭（ソフィア祭）のため、11月5日（日）に行います。

【大阪】開講式 4月8日（土）

【春学期】4月8日（土）～7月26日（水）

	水曜開講日	土曜開講日
1	4月12日	4月8日
2	4月19日	4月22日
3	4月26日	5月13日
4	5月10日	5月27日
5	5月17日	6月10日
6	5月24日	6月24日
7	5月31日	7月8日
8	6月7日	7月22日
9	6月14日	
10	6月21日	
11	6月28日	
12	7月5日	
13	7月12日	
14	7月19日	
15	7月26日	

【秋学期】9月27日（水）～1月27日（土）

	水曜開講日	土曜開講日
1	9月27日	10月14日
2	10月4日	10月28日
3	10月11日	11月11日
4	10月18日	11月25日
5	10月25日	12月9日
6	11月8日	12月23日
7	11月15日	1月13日
8	11月22日	1月27日
9	11月29日	
10	12月6日	
11	12月13日	
12	12月20日	
13	1月10日	
14	1月17日	
15	1月24日	

※春学期の初回の授業は、4月8日（土）の開講式の後に行います。

【2023 年度授業時間割】（予定）

【東京・大阪共通】

学年	開講期	曜日	時間	科目名	単位数
1年次	春	水曜日	18:30～20:00	グリーフケア原論	2
			9:30～11:00	宗教学	2
		土曜日	11:10～12:40		
			13:30～15:00		
			15:10～16:40		
			16:50～18:20	個別指導Ⅰ	1
	秋	水曜日	18:30～20:00	キリスト教人間学	2
			9:30～11:00	スピリチュアルケアと芸術	2
		土曜日	11:10～12:40		
			13:30～15:00		
			15:10～16:40		
			16:50～18:20	個別指導Ⅱ	1
	通年	不定期	－	グリーフケア臨床訪問実習Ⅰ	1
2年次	春	水曜日	18:30～20:00	グリーフケア援助論	2
			9:30～11:00	グリーフケア援助演習Ⅱ	2
		土曜日	11:10～12:40		
			13:30～15:00		
			15:10～16:40		
			16:50～18:20	個別指導Ⅲ	1
	秋	水曜日	18:30～20:00	スピリチュアルケア原論	2
			9:30～11:00	総合演習	2
		土曜日	11:10～12:40		
			13:30～15:00		
			15:10～16:40		
			16:50～18:20	個別指導Ⅳ	1
	通年	不定期	－	グリーフケア臨床訪問実習Ⅱ	1
合計修得単位数					30

【科目の紹介】

【グリーフケア原論】 グリーフケア人材養成講座での学びの入門科目であり、グリーフケアとは何かについて全体像を学びます。人間科学的な援助とは異なり、思想・宗教・伝統・文化の歴史性・多様性に注目しつつ行われるグリーフケアの理論的理解を深めます。

【宗教学】 原始から現在に至るまでのさまざまな諸宗教の思想と歴史を学び、ケア対象者・提供者の背景にある思想・宗教・伝統・文化について理解を深めます。

【キリスト教人間学】 上智大学の教育理念に関わる科目です。特にこの科目では、キリスト教のスピリチュアリティと、その様々な展開と歴史社会とのかかわりについて理解を深めます。

【スピリチュアルケアと芸術】 日本のスピリチュアルケアにおいて最も新しい領域です。芸術的感性とスピリチュアリティの関わりについて学び、音楽・美術その他の芸術を通してケアについての理解を深めます。

【グリーフケア援助論】 さまざまな臨床現場でのケア実践者を招きます。グリーフケアの広がりを実際に知る機会です。医療現場に限らず、福祉、教育、産業の現場、また災害、事故・事件、自死に関わるケア、さらには公認されない悲嘆についても学びます。

【臨床倫理】 ケアの現場で直面する倫理的課題について学びます。倫理は規則ではありません。唯一の正解を求め得ないパラドキカルな状況での課題への取り組みの方法、また実践における倫理の実践について学びます。

【スピリチュアルケア原論】 グリーフケアが「悲嘆」という事態に注目しケアする学問的実践的領域であるのに対し、スピリチュアルケアは、すべての人に本来備わっているスピリチュアリティとその働きに注目します。最終学期の科目として、これまでの学びを異なる観点から再統合する機会を提供します。

【死生学】 さまざまな死生観を学ぶとともに、効率や実績を重視する現代社会の支配的価値観では捉えきれない諸問題を死生学的課題と理解し、より人間の本質に接近した立場から取り組みます。

【基礎演習】 演習とグループワークを通して、ケア提供者自身の自己理解を深めます。

【グリーフケア援助演習Ⅰ】および【グリーフケア援助演習Ⅱ】 演習とグループワークを通して、グリーフケア・スピリチュアルケアの援助技術について実践的に学びます。特に「スピリチュアルケア提供者を目指す受講者自身が、教育的に構成された場で互いにスピリチュアルケアを受けることを通して、ケアを総合的・実践的に学ぶ」という教育を実現します。

【総合演習】 演習とグループワークを通して、ケアの提供者として必要とされる能力技能を仕上げます。

なお、基礎演習、グリーフケア援助演習Ⅰ、グリーフケア援助演習Ⅱおよび総合演習では、一般的な演習やグループワークだけでなく、瞑想やボディーワークなどを取り入れて、ケア提供者のスピリチュアリティを涵養する機会を設けます。

【個別指導Ⅰ】、【個別指導Ⅱ】、【個別指導Ⅲ】および【個別指導Ⅳ】 教員との個人面談を通して、受講生個々人の課題の明確化に取り組みます。

【グリーフケア臨床訪問実習Ⅰ】および【グリーフケア臨床訪問実習Ⅱ】 受講生と実習先のスケジュールを調整し、1年間に数回、少人数のグループに分かれて遺族会や患者会等を訪問し、実際にグリーフケアの現場を体験します。

資格認定課程（1年制）

資格認定課程（1年制）は、グリーフケア人材養成課程（2年制）の修了者を対象とした課程です。

この課程は、グリーフケア、スピリチュアルケアの専門職を養成するための課程であり、本課程の所定の単位を修得し、総合審査に合格した方は、一般社団法人日本スピリチュアルケア学会が認定する「臨床スピリチュアルケア師」審査受験資格を得ることができます。

専門課程（1年制）

専門課程（1年制）は、一般社団法人日本スピリチュアルケア学会が認定する「臨床スピリチュアルケア師」の有資格者で、同学会が認定する「専門スピリチュアルケア師」の資格取得を目指す方のための課程です。

資格認定課程（1年制）を修了し、「臨床スピリチュアルケア師」の資格を取得した方、また、グリーフケア人材養成講座以外の他のスピリチュアルケア師養成プログラムを受講して「臨床スピリチュアルケア師」の資格を取得した方を対象とします。

■ 大森 美路子 (2019 年度人材養成課程修了)

上智大学大学院実践宗教学研究科死生学専攻在籍 精神保健福祉士・公認心理師



グリーフケア研究所人材養成課程での2年間は、私にとって宝探しのような時間でした。その中には、長年持ち続けていた自らのグリーフの蓋を開けて中をありありと見る「心の鍛錬」と、ケアを学ぶ仲間と一緒に心の鍛錬をしながら、自分だけでは到底辿り着けなかったであろう「癒し」をもらえる、その両方を思う存分に味わう経験がありました。

傾聴とは何か、グリーフケアとは何かを、経験しながら自分なりの、自分だけの答えを手に入れることができる貴重な学びとなりました。

修了後は、大学院に進み、教育や精神福祉の現場で働きながら災害の被災に遭われた方々へのケア研究を継続しています。これから先も2年間の学びを生かしていきたいです。

■ 久野 佐和 (2019 年度資格認定課程修了)

会社員 / NPO 法人白十字在宅ボランティアの会



家族の看取りを経験し、私の人生観は大きく変わりました。自分に向き合わざるを得なくなり、寄り添うとはどういうことかを考えるうち、スピリチュアルケアの学びに出会いました。

講義、演習、実習を通じてケアを学びながら暮らした五年間は、「等身大の私」になってゆく時間だったといえるでしょう。今もなお、ありのままの自分を受けとめることの苦しさや安らぎを味わう日々です。

私は、お年寄りの話を聞いて冊子を作る聞き書きボランティアをしています。聞き書きは、私がスピリチュアルケアを体感する場でもあります。その人の物語に身を委ねながら、かけがえのない時を過ごさせていただいています。

そして、学び合う友人に恵まれたことにも感謝しております。

■ 吉田 奈美 (2018 年度専門課程修了)

医療法人社団 せせらぎ せせらぎ在宅クリニック



受講へのきっかけは、職場の上司から渡された1枚の紙(講座募集要項)と「あなた行ってみたら」の言葉でした。日常にありがちな触れ合いです。ただ、その1枚を隅々まで読むと病床での出会いが浮かびました。受講して向き合う方法ではなく、自分が向き合っているかへ問いが変わりました。グループワークは、出会いの場面をシェアすることで仲間が湧きあがった言葉をくれます。言葉の影響力をしっかり味わえます。通年実習を基に、同講座の先輩が活躍される訪問看護ステーションへ傾聴訪問しています。その方のライフストーリーや語る表情に、エンパワメントされている自分に気づき、出会いを表現したく研究論文を綴りました。この講座は「向き合うことが夢中のできる環境」があると私は捉えます。あなたらしく講座に出会ってみませんか。

■ 徐 近澈 (2017 年度臨床コース修了)

カトリックイエズス会司祭



カトリック司祭として、喪失の痛みの中で生きておられる信者のグループとともに Grief work を5年間やっていました。でもやればやるほど、専門の知識が知らな過ぎて困っていたところ、上智のグリーフケア研究所を紹介されました。

勉強を重ねながら、人はケアしながらケアされる存在であることを知りました。勉強し始めたときには与えることばかり考えていましたが、勉強が深まる中、私は「与える」ということよりは「与えられる」ことが多いということにも気づかせていただきました。

一番のチャレンジは「傾聴する」ということを学ぶことでした。Check inしながら Inventory を作成することが重要だということに気づきました。なので、今も人に会う前にはその準備に忠実に臨もうとしています。コロナ禍で会える人の数が減っていますが、ある人は少しずつ良くなってきているし、ある人は非常に難しい時間が続いています。「啐啄同時」という言葉を思い出しながら、より謙遜な態度で人々に出会う恵みを願いつつ自分のミッションに邁進しております。

■ 石野 真輔 (2019年度 資格認定課程修了)

十条武田リハビリテーション病院 医師



人材養成講座を通じて、いのちについての学びを深めていくと、あらゆる面で視点が変わり言葉・音楽・芸術・自然に対して心の扉が開かれました。グリーフケアはいのちのケアです。医学教育では、いかに「答え」を出すのかということをお教わってきたと思います。しかし「答え」が出ないことも臨床現場では意外と多いのでは無いですでしょうか。この学びを通して「答え」が出そうになくともその場にとどまり相手の話を聴くということが大切なのだと思えました。話を深く聴くことができるようになって患者さんとの距離はぐっと縮まったように思います。今後は医師として、いかにこの学びを広げ伝えていけるかが私の課題と感じています。素晴らしい講師と仲間との出会いは、何ものにも変え難い貴重な体験でした。

■ 児島 若菜 (2011年度 専門コース修了)

児島医院 看護師・臨床心理士・公認心理師



私は研究所を修了後、同期4名で遺族会「はずの会」を立ち上げました。遺族会でファシリテーターをしていると、悲嘆を抱えたご遺族様を前にして、自分に何ができるのか、なぜこの場に座っているのか、毎回自分自身が問われている気がしています。そんな状況の中でもそこに留まり続けられるのは、研究所での授業のおかげです。仲間の力を借りながら自分について考え、仲間の悲しみ、苦しみそして喜びを共有しました。それは他者のスピリチュアリティに触れ、自分のスピリチュアリティを養う・・・そんな学びでした。そして今、診療所に勤める心理士として心の痛みはもちろん、死を前に苦悩する方、ご遺族、病による健康の喪失など様々なグリーフを持つ方のスピリチュアルな痛みに触れ、大切にお話を伺っています。

■ 不破 英明 (2015年度 専門コース修了)

真宗大谷派 圓龍寺 僧侶／沼口医院 スピリチュアルケア師



大切な人との別れの悲しみや、生きることの苦しみ、償いの想いなど、お寺・医院・福祉施設で色々な声を聴かせていただく。声というより心の叫び、スピリチュアルな痛みと言っていいたろう。研究所で学ぶ前は、テクニックを駆使してアドバイスなどをしていた私がいた。しかしスピリチュアルな痛みにはテクニック等は通用しない。そんなとき私に力を与えてくれるのが研究所で聴いた「寄り添い人になる」「そこにいる」「メッセージを聴く」等の言葉であり、グループワークでの気づきの体験であった。研究所では言葉に出会い、人に出会い、自分に出会い、そして大いなるものに出遇わせていただいたが、それは現在進行形でもある。今後もスピリチュアルな痛みを抱えた人の心の声を聴き、関わっていきたいと思う。

■ 森川 和珠 (2015年度 専門コース修了)

NPO 法人いのちのケアネットワーク代表理事・介護支援専門員



研究所での学びは私の人生を変えた、と言っていいと思います。入った頃はケアに役立つスキルを獲得しようと意気込んでいたのに、修了する時には何も持たない「小さな私」になっており、しかしそれが不思議と清々しく感じられました。私を見つめ、人を知り、いのちを感じる。学ぶ喜びと、覚悟。よく笑い、何度も泣きました。スピリチュアルケアって楽じゃない。けれども私が生きるには、それが必要。苦しい思いもしながら自分を掘り下げ手放していく過程では、ともに歩む仲間たちに支えられ、私を生かす「つながり」があることに気づきました。そんな素晴らしい仲間たちと設立したNPOで、今はグリーフケア・スピリチュアルケアを普及するための活動をしています。悲しみや痛みを感じながら、聴き、委ね、暮らすこと。私の人生は、ずいぶん豊かになりました。

上智学院 個人情報保護方針

1. コンプライアンス・プログラム（個人情報の保護に関する方針、組織、計画実施、監査及び見直しを含むシステム）を策定し、これを組織的に着実に実施し、維持し、継続的に改善していきます。
2. 個人情報保護のための組織管理体制を確立するとともに、個人情報の収集、利用及び提供に際しては、所定の規程・規則を遵守し、適切な取扱いを実施します。
3. 個人情報の正確性及び安全性を確保するために、情報セキュリティ対策をはじめとする安全対策を実施し、個人情報への不正アクセス、紛失、破壊、改ざん及び漏洩等の防止に努めます。
4. 個人情報に関する法令及びその他規範を守ります。学内規程、制度をこれらの法令及びその他の規範に適合させていきます。

詳細については、上智大学公式ホームページをご覧ください。

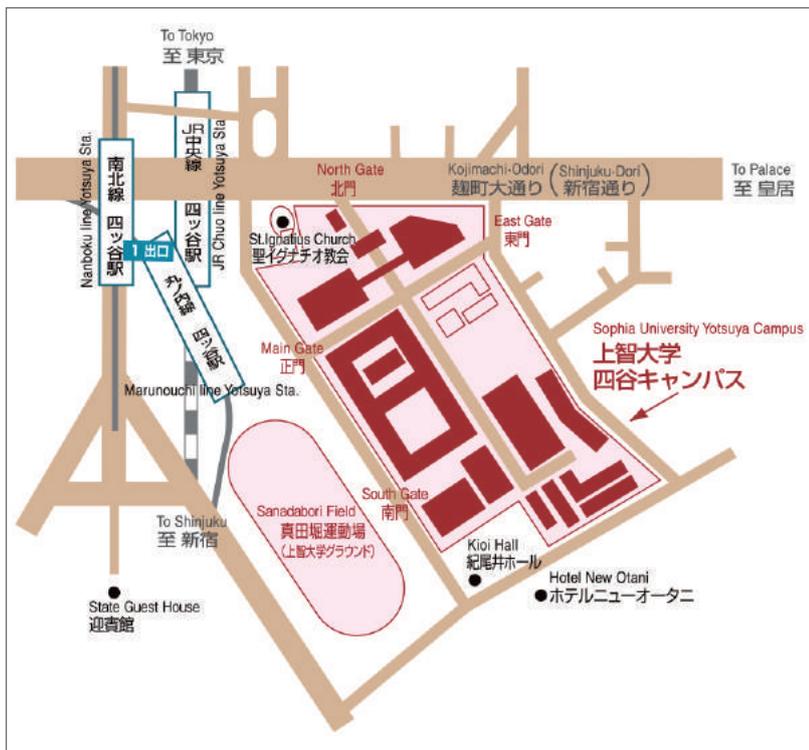
<https://www.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/index.html>

グリーンケア人材養成講座は下記の助成事業および本講座の主旨にご賛同いただきました賛助会員様のご寄付により開講しております。

助成事業： 公益財団法人 JR 西日本あんしん社会財団様 助成事業
一般社団法人 日本損害保険協会様 自賠責運用益拋出事業
賛助会員様： 東海旅客鉄道株式会社様 東日本旅客鉄道株式会社様

(2019年4月～2022年10月までの情報)

上智大学グリーンケア研究所 [東京]



お問い合わせ・
出願書類送付先

上智大学グリーンケア研究所(東京)

〒102-8554

東京都千代田区紀尾井町7-1

電話: 03(3238)3776

FAX: 03(3238)4661

Email: griefcare@sophia.ac.jp

上智大学ホームページURL:

<https://www.sophia.ac.jp/>

- JR中央線 四ツ谷駅から徒歩5分
- 東京メトロ丸ノ内線・南北線 四ツ谷駅から徒歩5分

駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

上智大学グリーンケア研究所 [大阪]



お問い合わせ先

上智大学グリーンケア研究所(大阪)

〒531-0072

大阪府大阪市北区豊崎3-12-8

サクラファミリア2階

電話: 06(6450)8651

FAX: 06(6450)8652

Email: i-grief@sophia.ac.jp

- 地下鉄御堂筋線 中津駅から徒歩3分
- 阪急大阪梅田駅 茶屋町口より徒歩4分
- JR大阪駅 御堂筋北口より徒歩10分

駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

2023年度 上智大学グリーンケア研究所 グリーンケア人材養成課程 願書

写真 上半身・正面向・背景無地 縦4cm×横3cm カラー 3ヶ月以内に撮影 裏面に氏名を記載 のりで貼付	フリガナ				出願先	※事務局記入欄	
	氏名				※いずれかに○印 東京・大阪		
	生年月日	(西暦)	年	月	日生	性別	男・女
	現住所	〒 _____ フリガナ _____					
連絡先	電話または携帯電話： _____						
	E-Mail： _____						
緊急連絡先	氏名： _____	続柄： _____	電話番号： _____				

【出願資格】 ※出願要項 2. 出願資格 (2)

↓ 該当する項目をチェックし、学校名、在学期間等を記入してください。

	① 大学または短期大学を卒業(卒業見込みを含む)
	出身学校名： _____
	在学期間： _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 卒業(見込み)
	② 学校教育における12年の課程を修了し、専門学校において2年以上の課程を修了(修了見込みを含む)
	専門学校名： _____
	在学期間： _____ 年 _____ 月 ~ _____ 年 _____ 月 修了(見込み)
	③ 上記のいずれにも該当しない。
	※事前に出願資格審査を申請し、出願が認められている方のみ出願可能です。 →出願資格審査結果通知書の写しを添付してください。

【出願資格】 ※出願要項 2. 出願資格 (その他)

↓ 以下に該当する場合は、該当する項目をチェックしてください。

	① 3年以内(2020年4月以降)に家族との死別を経験している。
	② 現在(出願時点)、精神科(心療内科)で受療中である。
①に該当する方で、2.出願資格(その他)の① (1)から(4)のいずれかに該当する方は、出願できません。	
②に該当する方は、他の出願書類とともに、診断書を提出してください。	

【職歴】 ※現在、働いている方(派遣、契約、パートタイム等を含む)は、以下に職業と勤務先を記入してください。

〈例〉職業：看護師、勤務先：上智病院 ※派遣、契約、パートタイム等の場合は職業の後に(非正規)と記入してください。

職業： _____ 勤務先： _____

【所有資格(認定資格も含む)】

取得年月	名称
年 月	
年 月	
年 月	

【研修歴】

期間	研修名
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	

【ボランティアなど社会活動歴】

期間	活動名
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	
年 月 ~ 年 月	

受験料納入のご案内

グリーンケア人材養成講座人材養成課程に出願される方は、受験料の納入が必要です。

受験料 30,000円

下記口座へお振込ください。

振込先： 三井住友銀行 本店営業部

(普) 1929711

受取人： 学校法人 上智学院

上智大学グリーンケア研究所

受験料振込金受領書等写台帳

氏名	住所
----	----

のりしろ

- ※ 「振込金受領書」の写し（コピー）をここに貼付してください。
- ※ 金融機関で発行する「振込金受領書」は、本学の領収書にかわるものですので、大切に保管してください。
- ※ ATMまたはインターネットバンキング等により振り込みされた場合は、控えの写し（コピー）をここに貼付してください。

郵便切手

1 0 2 - 8 5 5 4

東京都千代田区紀尾井町7-1

上智大学 グリーフケア研究所 行

(グリーフケア人材養成課程 出願書類在中)

簡易書留

(二つ折厳禁)

簡易書留
引受番号

【出願書類チェックリスト】 ※「チェック欄」に「○」を付けてください。		チェック欄
1)	2023年度上智大学グリーフケア研究所グリーフケア人材養成課程願書[本学所定用紙]※写真貼付	
2)	自己紹介文 (A4縦判1枚)	
3)	志望理由書 (A4縦判1枚)	
4)	小論文 (A4縦判1枚)	
5)	受験料振込金受領書等写台帳[本学所定用紙]	
6)	その他 ()	

出願先(受験地)	いずれかに○印 東京 ・ 大阪
フリガナ	
氏名	
住所	〒 _____